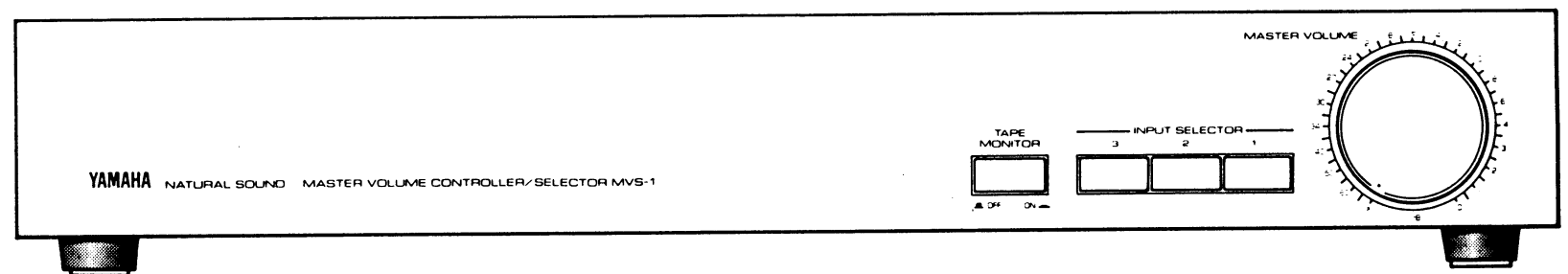


# MVS-1

NATURAL SOUND MASTER VOLUME CONTROLLER/SELECTOR

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・マスター ボリューム コントローラー/セレクター MVS-1をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MVS-1の優れた性能を十分に発揮させ、末長くお使いいただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。

## 目次

特長.....	1
豊かなオーディオライフのために.....	2
接続のしかた.....	3
各部の名称とはたらき.....	6
操作のしかた.....	7
故障かなと思ったら.....	8
参考仕様.....	8
ブロックダイアグラム.....	8
ヤマハホットラインサービスネットワーク.....	9

## 特長

### ●豊富な接続端子とセレクト機能

本機をインプットセレクターとした、最もシンプルなDSPシステムを構成することができます。また、3系統入力セレクターと1テープモニター機能の装備で、入力拡張はもちろん、インプットセレクターとして使用することも可能です。

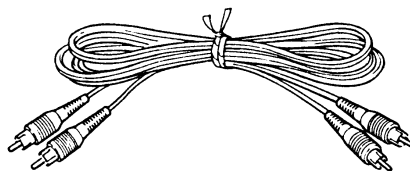
### ●高精度6連マスターボリューム

超微粒子カーボン抵抗体使用の6連ボリューム採用により、音質を損なうことなく音量をコントロールできます。

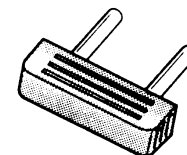
### ●デジタルサウンドをクオリティアップ

DSP-1への入力を最大(最大許容入力3V)にとり、本機でレベルコントロールすれば、A/Dコンバーター16bitをフルに使い、高性能を活かすことができます。またCDプレーヤーをダイレクトにパワーアンプへ接続するとき、手軽なフェーダーシステムとして使用できます。

付属品を確認してください。



ピンコード×4組

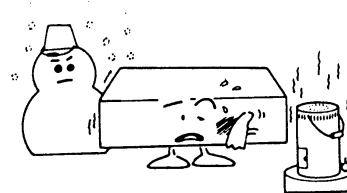
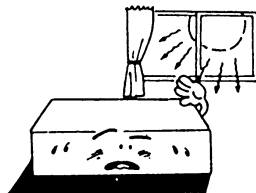


ショートプラグ×2

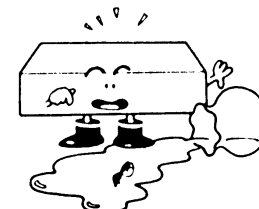
# 豊かなオーディオライフのために

## 高温・低温はさけて！

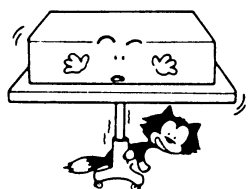
窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



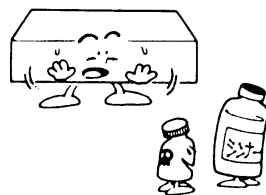
## ほこり・水気をさけて！



## 不安定な場所をさけて！

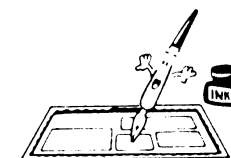


## 薬物厳禁

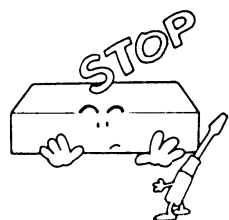


## 保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



## 開けないで！



## こわれた？



8ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

## 取扱説明書はかならず保管してください。



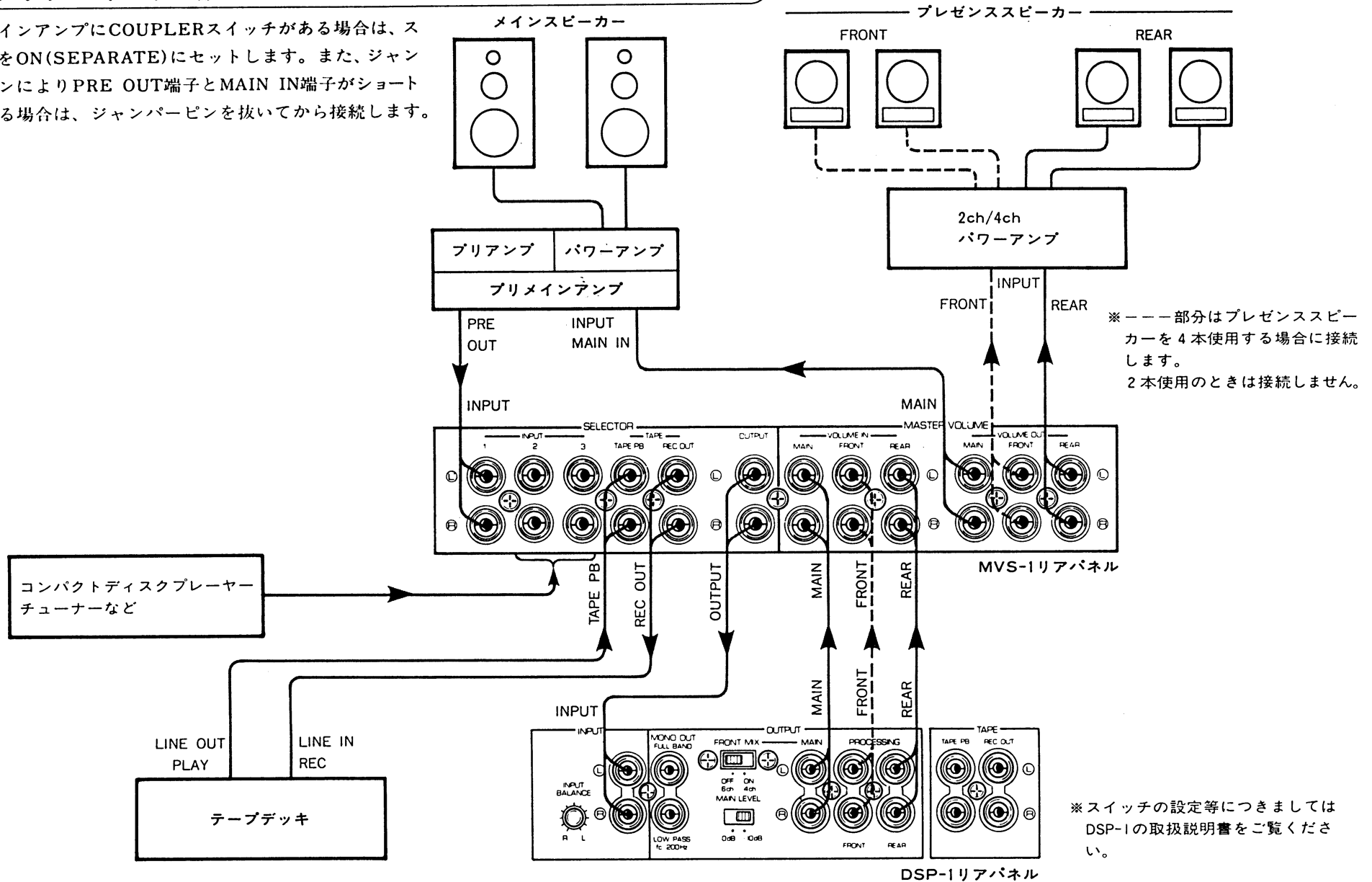
ファイルなど

# 接続のしかた

## セパレートタイプのampを使用したDSPシステム

## プリアウト・メインイン端子のあるプリメインampを使用したDSPシステム

※プリメインampにCOUPLERスイッチがある場合は、スイッチをON(SEPARATE)にセットします。また、ジャンパーピンによりPRE OUT端子とMAIN IN端子がショートしている場合は、ジャンパーピンを抜いてから接続します。

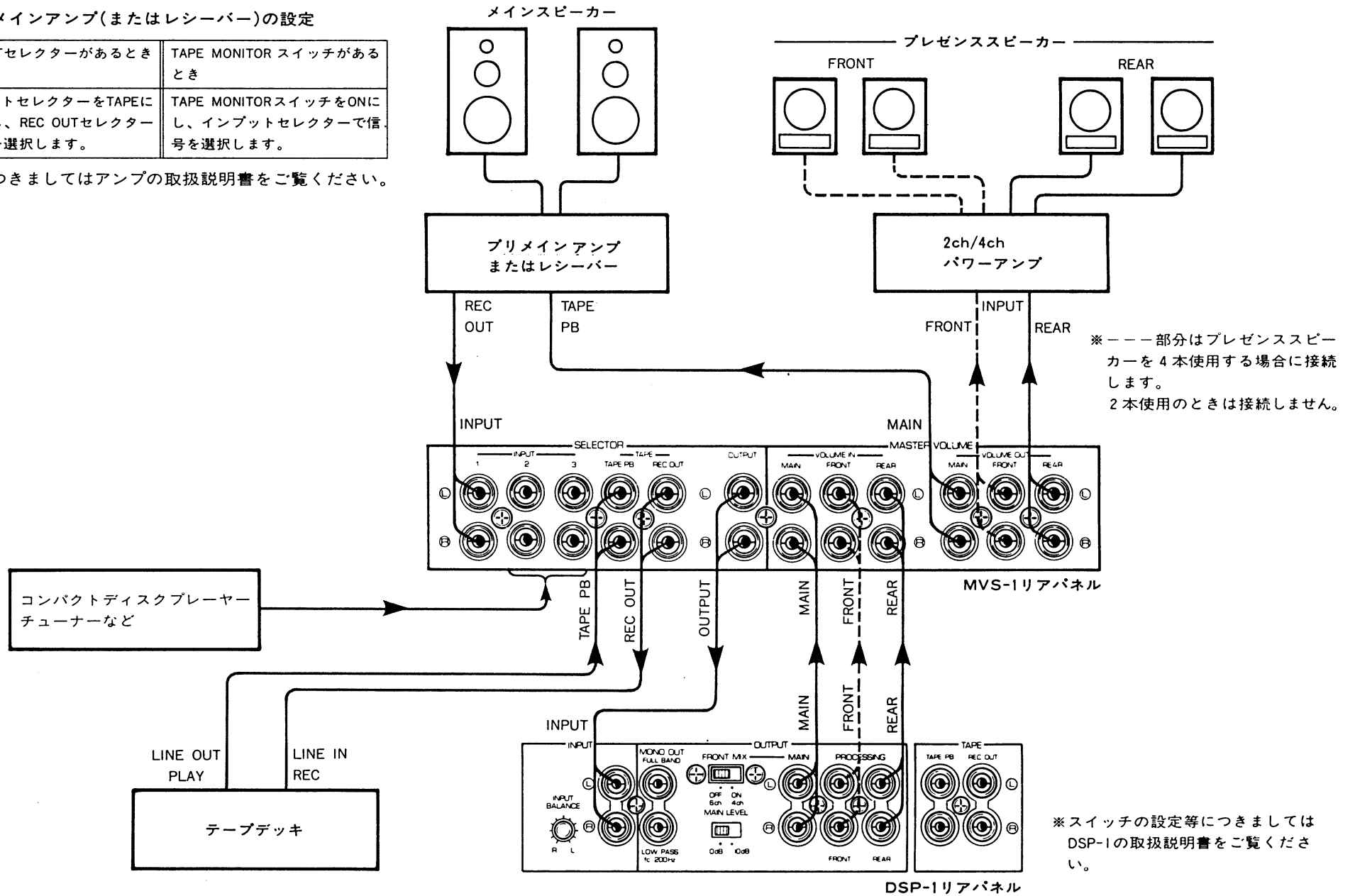


プリアウト・メインイン端子のないプリメインアンプ(またはレシーバー)を使用したDSPシステム

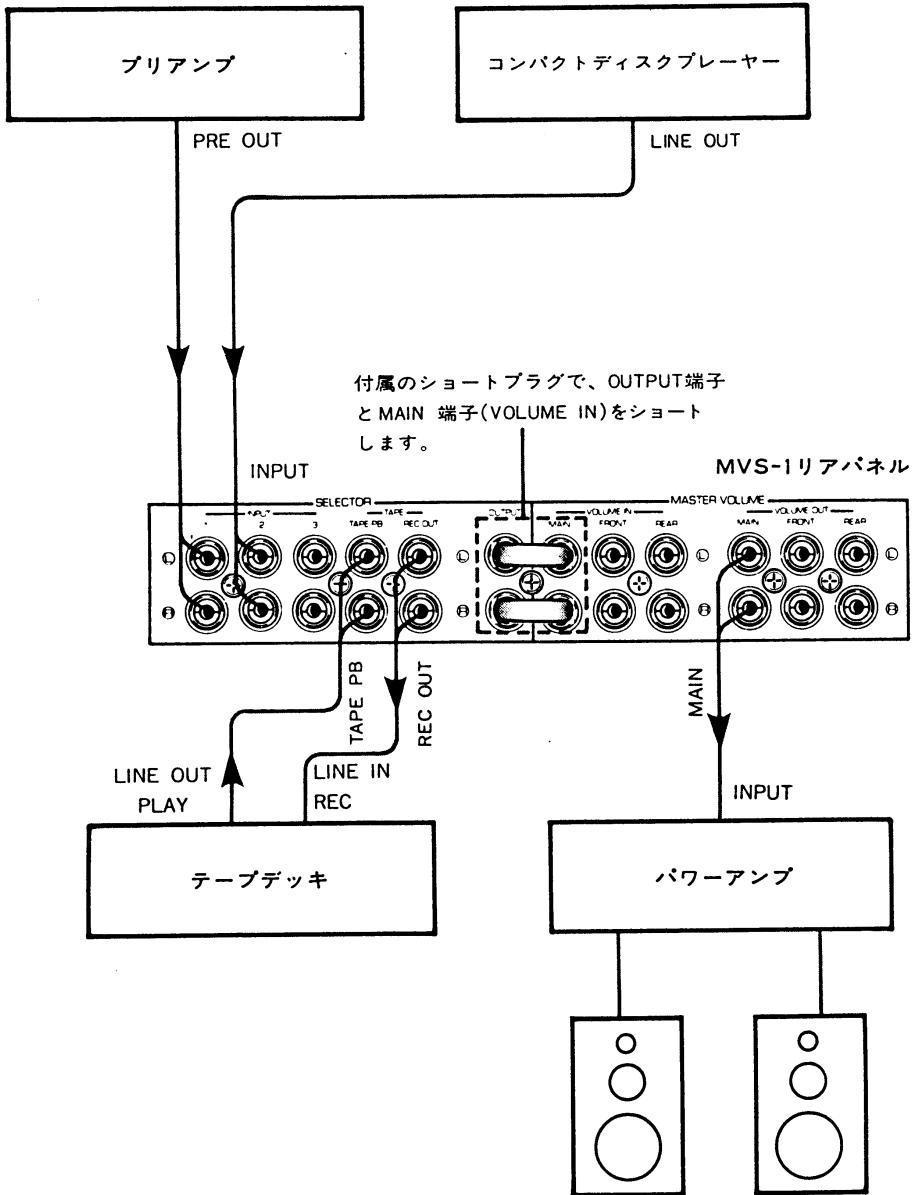
※プリメインアンプ(またはレシーバー)の設定

REC OUTセクターがあるとき	TAPE MONITOR スイッチがあるとき
インプットセクターをTAPEにセットし、REC OUTセクターで信号を選択します。	TAPE MONITORスイッチをONにし、インプットセクターで信号を選択します。

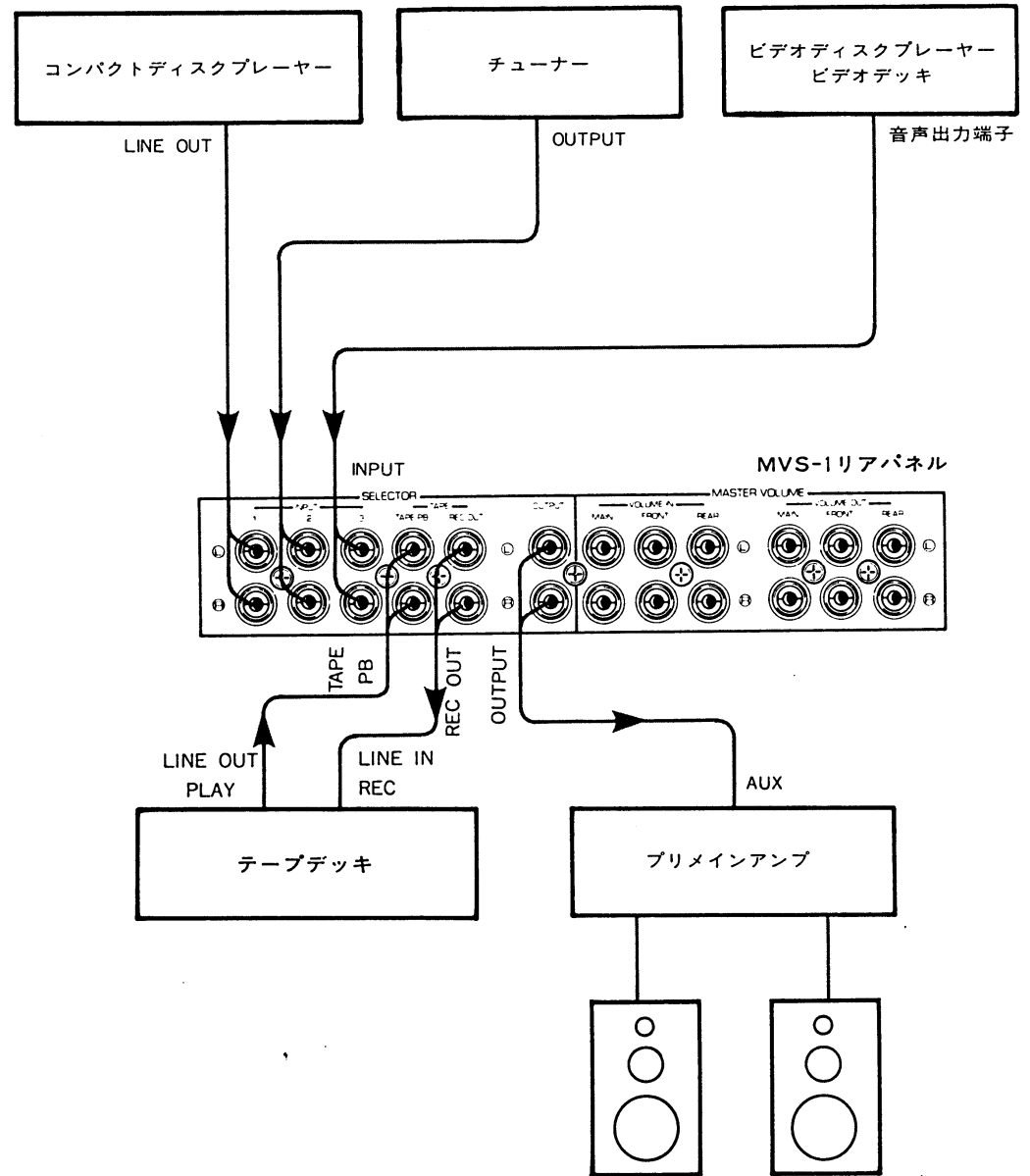
操作につきましてはアンプの取扱説明書をご覧ください。



コンパクトディスクプレーヤーやセパレートアンプのフェーダーシステムとして使用するとき

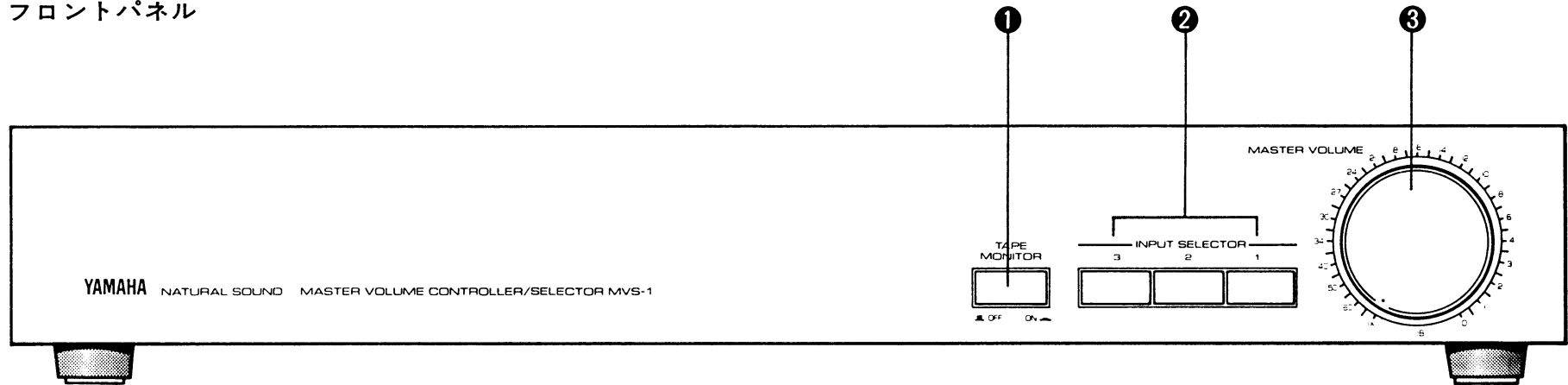


インプットセレクターとして使用するとき

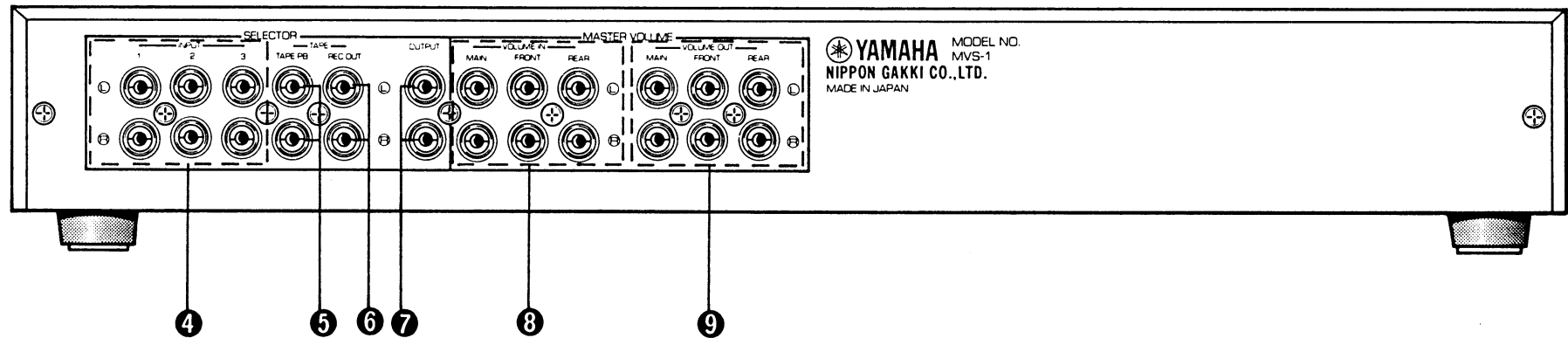


# 各部の名称とはたらき

フロントパネル



リアパネル



テープ モニター  
① TAPE MONITORスイッチ

TAPE PB端子④に接続されたテープデッキの信号を、OUTPUT端子⑦へ出力するスイッチです。スイッチを「ON」にすると、INPUT SELECTOR②に関係なく、本機に接続したテープデッキを再生できます。

インプット セレクター  
② INPUT SELECTOR

INPUT端子1～3に接続された信号の中から、OUTPUT端子⑦へ出力する信号を選択するスイッチです。

# 操作のしかた

## ③ MASTER VOLUMEツマミ

音量を調整するツマミです。メインスピーカーとプレゼンススピーカーの音量を同時にコントロールできます。

右(時計方向)に回すほど音量が大きくなります。

※本機を接続した場合、お手持ちのステレオシステムの電源を入れるときは、必ずMASTER VOLUMEツマミを最小の位置“∞”にしてください。

## ④ INPUT端子 1～3

プリアンプまたはプリメインアンプと接続する入力端子です。コンパクトディスクやチューナーなどを接続することもできます。

## ⑤ TAPE PB 端子

テープデッキからの信号を入力する端子です。

## ⑥ REC OUT端子

テープデッキへ信号を出力する端子です。INPUT SELECTOR②で選択された信号が出力されます。

## ⑦ OUTPUT端子

INPUT SELECTOR②およびTAPE MONITORスイッチ①で選択された信号を出力する端子です。

## ⑧ VOLUME IN端子(MAIN, FRONT, REAR)

MASTER VOLUMEツマミ③で音量調整する信号を入力する端子です。

## ⑨ VOLUME OUT端子(MAIN, FRONT, REAR)

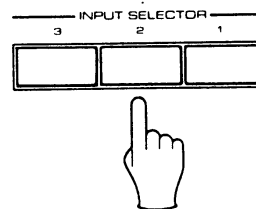
MASTER VOLUMEツマミ③で音量調整した信号を出力する端子です。

## 再生

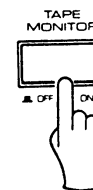
※本機を接続した場合、お手持ちのステレオシステムの電源を入れるときは、必ずMASTER VOLUMEツマミを最小の位置“∞”にしてください。

### 1 信号の選択

INPUT端子に接続された信号を再生するときは、INPUT SELECTORを押します。

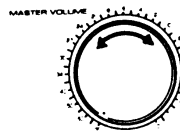


TAPE端子に接続されたテープデッキを再生するときは、TAPE MONITORスイッチを“ON”にします。



### 2 音量調整 (DSPシステム/フェーダーシステムのみ)

1. プリアンプまたはプリメインアンプのボリュームを中央(表示があるときは約-16dB)の位置にあらかじめセットします。(DSPシステムのみ)
2. MASTER VOLUMEツマミを回して全体の音量を調整します。

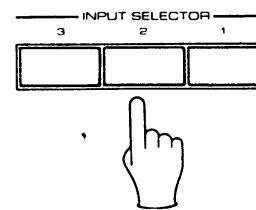


※全体の音量バランスがとれない場合は、パワーアンプまたはプリメインアンプのボリュームで再調整してください。

## 録音

TAPE端子に接続したテープデッキで、入力信号の録音ができます。

INPUT SELECTORで録音したい信号を選択します。



録音内容をモニターしたいときは、TAPE MONITORスイッチを“ON”にします。

※アンプおよび他の機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。



# 故障かなと思ったら

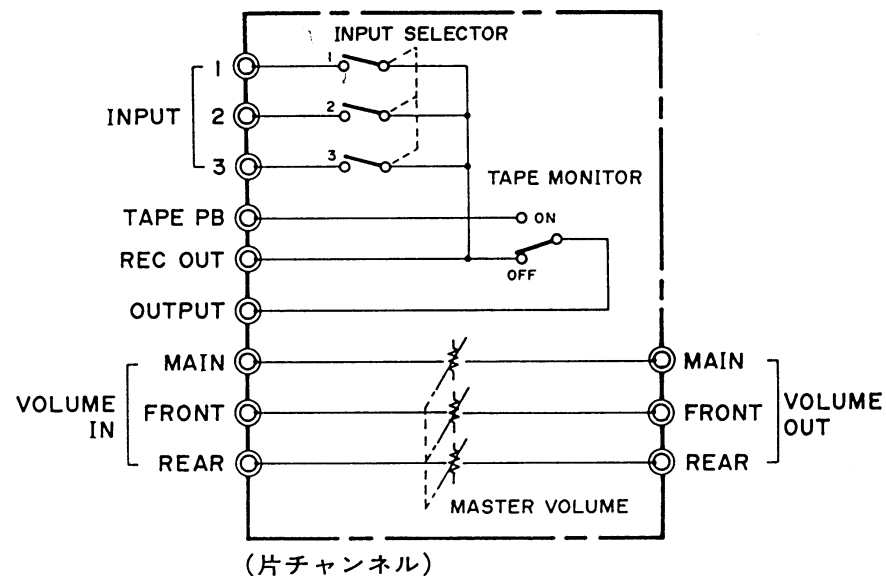
本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ・サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	ピンコードの接続が確実に行なわれていない。	ピンコードをしっかりと接続しなおしてください。
	MASTER VOLUMEツマミが絞られている。	MASTER VOLUMEツマミを右(時計方向)に回してください。
	アンプのインプットセレクターの設定が間違っている。	アンプのインプットセレクターの設定を正しく行なってください。 (DSP-1およびアンプの取扱説明書を参照してください。)
INPUT SELECTORで選択する信号の音が出ない	TAPE MONITORスイッチが“ON”になっている。	TAPE MONITORスイッチを“OFF”にしてください。

## 参考仕様

入出力機能	
INPUT	INPUT (1、2、3) L, R/50k $\Omega$ TAPE PB L, R/50k $\Omega$ VOLUME IN (MAIN, FRONT, REAR) L, R/10k $\Omega$
OUTPUT	REC OUT L, R OUTPUT L, R VOLUME OUT (MAIN, FRONT, REAR) L, R
外形寸法 (W×H×D)	435×72×286mm
重量	2.5kg

## ブロックダイアグラム



# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

## ●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

AVC事業部

TEL.(0534)60-3409

管理部サービス技術課

TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。